

## 第1回山形県教員資質向上協議会における委員の主な意見と「指標」(案)への反映に係る対応表

H29.10.31

委員の意見	「指標」(案)への反映
○山形県が求める教員の姿の全体像を示してほしい。 →	○「山形県教員『指標』(案)について」の5(1ページ)に明記。
○キャリアステージに経験年数を入れているのは、実情に合わない。検討してほしい。 →	○「指標」からは経験年数を削除。「山形県教員『指標』(案)について」の7(3ページ)に、「目安」としての年数を記述。県教育センターでは、教員の経験年数を想定して研修計画を作成しており、その整合性を図るため。
○キャリアステージが7段階なのは多い。整理すべき。 →	○キャリアステージを5段階(始発期後期と成長期を統合、伸張期と充実期を統合。)に再構成。
○指標の項目が細かすぎる。重なりを整理して精選すべき。 →	○指標の内容及び文言を整理して項目数を精選。(教諭用A 50→40、教諭用B 44→40、養護教諭用 48→40、栄養教諭用 48→39、校長用 27→20)
○教諭用Aを、幼稚園教諭用として読み替えるのは、幼児の発達段階や保育の専門性を考えると困難。幼稚園教諭用を作成すべき。 →	○幼稚園教諭用A(保育の実践に関する資質・能力)を新たに作成。教諭用B(教職の素養に関する資質・能力)を、幼稚園教諭用としても活用できるよう、内容と文言を吟味・整理し、修正。
○教員の資質・能力は、その時期に急に身に付くものではなく少しずつ身に付くものであり、個人差もある。グラデーションで表現できないか。 →	○グラデーションによる表現も検討したが、表に着色した場合、色の見え方に困難さを抱える方にとっては、かえって見えにくくなることを考え、(案)の形(セルに着色せず、色枠囲み)に整理。
○学び続けることの重要性を明記してほしい。 →	○「本県が採用時に求める教員の姿」(1ページ)から、教諭用Bの「指標」、校長の「指標」まで、「学び続ける姿勢」を一貫して記述。
○「着任時の姿」に、「心身の健康」、「人とかかわる力」に関する文言を明記してほしい。 →	○教諭用Bの「○1」に、「円滑な人間関係をつくる」、「○2」に、「心身ともに健康で」の文言を付加。